

| | | |
|------|----|--|
| 授業作り | 重点 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と確かな学力の育成 ・毎時間の授業で授業スタンダード（始めにねらいの提示をする。→ねらいに合わせた振り返りをしてまとめる）の徹底 ・小グループにおける教師相互の授業観察 |
| 環境作り | | <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器等の思考ツールを活用・推進 ・一人一台タブレットを活用した自学自習の意欲を促す課題、毎日家庭学習に取り組めるドリルパーク等の課題提示 |

■ 各教科の取組について

| 教科 | 学習状況の分析 (各種調査から) | 学校が取り組む目標 (日常の授業の様子などから) | 目標達成のための取組 |
|----|---|--|--|
| 国語 | 「思考・判断・表現」は区、全国共に平均を超えている。3年の「知識・技能」のみ、区の平均を僅かながら下回った。特に「主張の根拠を選ぶ」設問の正答率が区の平均を著しく下回っており、今後の課題である。 | 「知識・技能」の向上を目指して、日々の家庭学習（漢字練習）を今後も継続する。また、文章読解や自分の考えをまとめるときには、なぜそのような考えになったか根拠を明確にするよう指導していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ①家庭学習の継続 ②デジタルドリルの活用 |
| 数学 | 「知識・理解」、「思考・判断・表現」の観点共に区、全国の平均を越えている。「関数」の単元の正答率が他とくらべ低いことが課題である。 | 身の回りにある事象と、関数との結びつきを意識し、関数の問題を解くことの指導だけでなく、概念的な理解を助長するような授業展開を増やしていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ①デジタル教科書のデジタルコンテンツの利用。 ②オクリンクの活用 ③デジタルドリルの活用 |
| 理科 | 「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点は2年では、全国の平均を下回り、3年では区の平均を下回っている。2年では、「物質」、3年では、「化学変化」とともに化学分野に課題がある。 | 身近な物質の性質に実験・観察を通してより多く触れ、興味・関心を生徒にもたせ、科学的な原理・現象の理解を深める。また、生徒に授業を主体的に受けさせる指導を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ①ICT機器の活用 ②ミライシードのオクリンクの活用 ③ミライシードのデジタルドリルの活用 |
| 社会 | 「知識・技能」の観点は、区、全国の平均を越えていたが、「思考・判断・表現」の観点について、2年は区、全国の平均を下回っていた。 | 知識・技能が身につけているので、レポートにまとめたり、ICT機器を使用して発表を行うなど、思考・判断・表現を深めていくような授業展開をふやしていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ①レポートの作成 ②デジタルドリルの活用 ③プレゼンテーションソフトなどを使用して個人や少人数グループによる発表活動 |
| 英語 | 「知識・理解」、「思考・判断・表現」の観点共に区、全国の平均を越えている。「英文から要点の読み取り」の正答率が他と比べて低いことが課題である。 | 帯学習等で、継続的にまとまりのある英文を読む課題に取り組みせ、読み取るポイントを意識して読む学習を進めていく。また、単元ごとに長い英文の内容を自力で読み取る力の定着も図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ①副教材「読みトレ」を活用した帯学習 ②教科書各単元の Read and Think の継続的な活用 |